



杉谷 洋一 議員

地域の公共交通対策は？

町長

幅広く今後検討する



路線バスの乗車率の向上は

【杉谷】観光道路大山線は乗車率低下にともない国・県の助成が減額され地元負担が増加した。そこで、「大山サイクリング健康ロード」として全国発信してはどうか。これは、登りはバス利用、下りはレンタル自転車で、山から海までの自然を満喫し本町の観光施設を回ってもらうものだが、観光客増と乗車率の向上策としてどうか。

トラック事業を国に申請している。
 【杉谷】高齢者の運転免許の返納状況と特典制度の見直しは。
 【町長】返納者は26人、特典制度の利用者は4人である。2年目以降の特典制度の実施は考えていない。
 【杉谷】デマンドバスの利用状況および健康診断・確定申告への割引制度導入は。
 【町長】利用者は約7500人。健康診断は片道乗車券を交付しているが、確定申告は、今後検討する。

危険な廃屋対策は？

町長

特別措置法で対応する

【杉谷】倒壊などの危険性がある建物が増加傾向にある。廃屋対策の積極的な取り組みによって住民の安全で安心した生活が求められる。
 危険な廃屋の調査と苦情相談などがあつた場合の対応は。

【町長】今年5月に施行された特別措置法に基づいて、法律に規定する特定空き家などとして認められる場合は、取り壊し措置などの助言や行政代執行などが可能となった。

県や周辺市町村の動向も参考にして対応したい。
 【杉谷】条例の制定は。
 【町長】特別措置法が施行されたいまは、条例制定の必要性は感じていない。

【杉谷】周辺住民の安心・安全のために、倒壊などの未然防止や住環境の改善は。



早急な廃屋対策を